

(L)ショパンとリストの、ピアノ演奏における貢献は計り知れません。ショパンはロマンティックな作風でありながらも作品の基礎や形式に於いては古典的。その作品は(リスト程)音も多くなく、最小限に留められた音の中で透明感のある音色が求められます。

リストは正に革命児。彼自身が偉大なピアニストであったことから、ピアノという楽器の可能性を最大限に引き出しているのは、皆さんご存知の通りです。ベートーヴェンが始めた、ピアノのために管弦楽的な作品を書く、という発想を掘り下げたのはリストですし、ハーモニーや形式も当時に於いては大変冒険的でした。

ベートーヴェンの時代には、オーケストラを雇って自作曲を披露するというのは大変なことでしたし、また、他人の作曲した曲を演奏会で取り上げるという文化はその頃は一般的ではありませんでした。その点、リストがベートーヴェンの交響曲をピアノソロ版に編曲するなどして、当時の人々が耳にする機会の少なかった優れた作品達を多く取上げ、披露したことも特筆すべき貢献です。

●前述したとおり、前回のショパン国際ピアノコンクール(ワルシャワ)にて2位に輝いたシャルル・リシャル＝アムランさんも、“最も影響を受けた人物”として、師事したラプラントさんを挙げています。

またアムランさんが「人生を変えた5曲」というCBCミュージックによるインタビューで、ラプラントさんの弾く、リスト:口短調ソナタを併せて挙げていらっしゃいます!

“ラプラント先生は私に、自分の直感を信じること、内なる声に耳を傾けること、を教えてくださいました。私をここまで導いてくれた、絶対に欠かせない存在です。ラプラント先生は膨大なCDを量産しているわけではありませんが、本当に、全て最高レベルです。彼の弾き方はどの作品に於いても常に私の指針であり、手本です。特にリストの口短調ソナタは、私にとって、もう至高の1曲。作品の持つ雄大さを十分に表現するオーケストラのような響き、壮大な音なのに、荒々しさは一切存在しない。超絶技巧を披露することが最終的なゴールとなっていないからです。しかし、相反するように聞こえるかもしれませんが、難解な箇所を楽々と弾いては意味がないのです。…意味、わかりますか?難解な箇所とは、困難に直面しつつ、苦悶の表情でそれに打ち勝とうとする葛藤を表現すべきなのです。そんなドラマ性もラプラント先生は全て、汲み取っている。…リストのソナタといえば、ラプラント。私にとっては一生、そうだと思います。私がこの曲を自分で弾きたくない理由の1つです!(笑)あまりに完璧だから。これ以上私が付け加えるべきことなど、一切ない、と。本当にそう思っています。”

(シャルル・リシャル＝アムラン、CBC Music)

(L)リストの作品を演奏することは難しいと思います。かなり自由な形式ですし、たくさんの方がリストの作品を単に技巧的なものとして扱っていることも、事実です。鍵盤を叩くだけで、詩情や音楽性が全く残されていない演奏も多く耳にします。もちろん、日々の練習など、メカニク的な面を切り離すことはできません。



リストの録音、Felix 賞授賞式に

ですが、私がリストの作品を演奏する理由は、彼の作品の詩情豊かな面、音楽的な面を提示したいからに他なりません。音楽家が表現のコンセプトを決め、自分自身の声を見つけ、表現のための言葉を磨いていくことは膨大な時間かかる、長い旅なのです。

●最後に、メッセージをお願いいたします。

(L)聴衆が自分の音楽から何かを感じてくれている、というのは演奏をしていても伝わってくるものです。だからこそ、現役で演奏を続けているのです。より深い集中力をもって音楽創りに取り組み、聴いてくださる方々に、より多くのものを与えたい。そういう気持ちになります。

ステージ上で自分が創りだす音、投影している響きに深く耳を澄まし、集中して聴くことが、素晴らしい芸術創造の瞬間へとつながります。つまり、そこに居合わせる人間全員が、音楽を創る一員となるのです。

『人々をひとつにする』こと。これこそが、芸術の真の目的なのです。ギャラリーで絵を鑑賞しようと、演奏会に出掛けて音楽を楽しもうと、同じ。全ての芸術の目的とは、正にそこなのです。

【参照】

Classic Today.com: Chopin Sonata No2, etc /Laplante

La Scena Musicale: Andre Laplante “Fine Balance”

The Star.com: The difference between playing notes & making music

CBC Music: C.R.Hamelin: 5 pieces that changed my life

Conversations with Keith- Pianist Andre Laplante

アンドレ・ラプラント ピアノリサイタル

※当初からプログラムが変更になっております

【プログラム】

ショパン：幻想曲 Op.49 /

ソナタ 第2番 変口短調 Op.35《葬送》

リスト：巡礼の年 第2年「イタリア」より

「ペトルルカのソネット 第104番」

ソナタ 口短調 S.178

4月17日(火) 18:45 開演 (18:15開場)

一般¥4,500 / 学生¥2,700 全指定席

指定席 [チャリティーシート¥4,950]

チケット有! ご予約は宗次ホールチケットセンターへ

☎052-265-1718(10:00~16:00 ※一部例外有)